

「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

達 人 名	長谷川 元洋 先生 (情報モラル教育、情報安全教育、個人情報保護に関する教育の達人)		所属	金城学院大学
実 施 校	豊田市立逢妻中学校			
実 施 日	平成21年11月12日(木曜日)			
実施学年・学級	2年1～8組(213人)、特別支援学級(16人)			
教 科 等 名	道 徳	単元・題材名	「携帯電話と楽しく付き合うには」 望ましい生活習慣 I-(1)	
授 業 の 目 標	携帯電話の普及による社会変化と、中学生が巻き込まれやすい事件を知り、正しい携帯電話との付き合い方を学ぶ。			
授業の実際	 - 自分の携帯電話を持っているか答える。(教師) 6割程度。インターネットを含むと9割程度が活用。 - ネットや携帯を使うときに気をつけていることを発表する。(教師) - 電話代が高くなりすぎないようにしている。 ・ 長時間使わないようにしている。 - チェーンメールを回さない。 ・ 出会い系を使わない。 - 中学生が陥りやすい携帯電話での事件を達人から聞く。(教師・達人) - 携帯電話は、個人や場所を特定することができる。 - 中学生同士のネット内の喧嘩に赤の他人が入って大きなトラブルに。 - 出会い系サイトを利用した中学生がAIDS感染の恐怖に。 - 今日の授業で伝えたかったことを聞く。(達人) * インターネットは増幅装置 - インターネットは良いことをより良いことに増幅する。 - インターネットは悪いこともより悪いことに増幅する。 - 使い方が悪いと思わぬトラブルに巻き込まれる。 			
児童生徒の感想	- インターネットや携帯の使い方を改めて見直すことができた。 - 何も考えずに使っていたから、危険な事があることをふまえて使いたい。 - 便利な物こそ、便利になりすぎて、「便利」の域を越えてしまうので、便利な物は便利なままで使っていきたい。 - ホームページの情報からその人の事が分かってしまうことを初めて知った。 - インターネットは悪いところもあるけど、よいことの方がたくさんあると思うので、うまく活用できるといいと思った。 - いろいろな事件を知って少し怖くなったが、すぐく自分のためになった。			
教師の感想	何気なく使っている携帯で、いつの間にか犯罪に巻き込まれていることもあることを知った生徒もいて、携帯はおもちゃではないことを常に自覚してほしいと思った。目に見えない文字だけの世界だけに、気持ちの部分が分からないときもある。今日の授業をもう一度自分の事として考えることで、望ましい携帯やネットの使い方を感じてもらえるきっかけになった。正しく使ってよい増幅装置にしてほしいと願う。			